

## #12 TRS IMPUL with SDG Z が 2026 年開幕戦で 3 位表彰台を獲得 — SUPER GT 2026 第 1 戦レースレポート —

4月12日 岡山国際サーキット(岡山県)



2026 年 SUPER GT シリーズ第 1 戦が岡山国際サーキットで開催され、3 台の Nissan Z NISMO GT500 がシーズン開幕戦に挑みました。レース序盤にポジションを上げた#12 TRS IMPUL with SDG Z(平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット)が 3 位表彰台を獲得。レース後半でペースアップした#23 MOTUL Niterra Z(千代 勝正 / 高星 明誠)が 8 位、#24 リアライズコーポレーション Z(名取 鉄平 / 三宅 淳詞)が 9 位入賞を果たし、Nissan Z NISMO GT500 勢は全車入賞という結果でシーズンの幕開けを飾りました。

日産/NISMO 陣営はオフシーズンテストで精力的に車両の開発を行い、タイトル奪還を目標に全 7 戦のシーズンに臨みます。GT500 クラスは今シーズンから、エンジンの使用基数が年間 1 基となり、無鉛ガソリンにバイオエタノールを混合した環境対応型燃料(E10)の使用が義務づけられるなど、環境に配慮した次世代への対応を進めています。日産/NISMO 陣営は#12 Z、新たに松田 次生監督が就任した#23 Z と、タイヤをブリヂストンに変更し新コンビで戦う#24 Z という、3 台の Nissan Z NISMO GT500 で参戦します。

### 【GT500】

Nissan Z NISMO GT500 勢は 3 台揃って Q2 に進出  
#12 Z が予選 7 番手

#### 予選

予選日の 4 月 11 日(土)は朝から好天に恵まれ、4 月とは思えないほど気温も上昇し、予選開始の段階では気温 25 度、路面温度 37 度のコンディションとなり、午後 2 時 40 分から GT500 クラス予選 Q1 がスタートしました。今シーズンの GT500 クラスは 14 台が出走し、Q1 上位 10 台が Q2 へ進出します。

10 分間のセッションで、各車入念にタイヤのウォームアップを行い、4 周目からアタックを開始しました。セッション終盤、コースアウトしストップしたマシンによりセッションは赤旗中断となります。残り 4 分で再開した後、Nissan Z NISMO GT500 勢は全車がベストタイムを更新し、#12 Z が 2 番手、#23 Z が 7 番手、#24 Z が 9 番手で Q1 を突破し、Q2 進出を果たしました。

午後 3 時 32 分から開始された Q2 ではタイムが伸ばすことができず、#12 Z の平峰が 7 番手、#24 Z の三宅が 9 番手、#23 Z の千代が 10 番手となりました。

## #12 Z が序盤にポジションアップし、3 位表彰台 Nissan Z NISMO GT500 勢は全車入賞

### 決勝

4 月 12 日(日)の決勝日は朝から好天のもと、多くの観客がサーキットに来場しました。気温 24 度、路面温度 39 度と高温のコンディション下で、午後 1 時 25 分に 82 週の決勝が開始されました。7 番手スタートの#12 Z バゲットは開始直後からハイペースで走行し、1 周目に 5 番手に上がると、2 周目にリボルバーコーナーで前車をパスし 4 番手に上昇。7 周目にはヘアピンコーナーでアウト側からオーバーテイクを決めて 3 番手に浮上しました。9 番手スタートの#24 Z 三宅と 10 番手スタートの#23 Z 高星は、ともにポジションをキープしてレース序盤を乗り切りました。選択したタイヤが路面にマッチせず、ペースの上がらない#23 Z 高星は、13 周目に後続に先行を許し 11 番手となります。

レースが中盤を迎えた 29 周時点で、GT500 クラスのピットインが始まります。29 周を終了し#23 Z が、32 周を終了し#24 Z がピットインし、タイヤ交換と給油、そしてドライバー交代を行いました。上位陣の中ではピットインを引き延ばした#12 Z は 35 周を終えてピットイン。ポジションを守る確実なピット作業でレースに復帰しました。

GT500 クラス全車が規定のピット作業を終えた 48 周時点で、#12 Z の平峰は 3 番手、#24 Z の名取が 9 番手、#23 Z の千代が 10 番手でレースは後半戦を迎えました。4 番手と 10 秒以上の差がある#12 Z は、前を行く 2 番手との差を詰めるべくペースを上げます。徐々にその差を詰めた#12 Z ですが、狭いコースで GT300 クラスのマシンをかわしながらの走行で、3 秒から 5 秒の差を保つ一進一退の状況が続きました。9 番手の#24 Z と 10 番手の#23 Z は接近した戦いとなり、59 周目にポジションが入れ替わりました。

2 番手を追う#12 Z は、レース終盤に 2 秒以内までその差を詰めましたが、惜しくもポジションを上げることはかなわず 3 番手でフィニッシュ。ペースを上げた#23 Z は 69 周目に前車をパスして 8 番手に浮上し、#24 Z も 79 周目に 9 番手に上がります。82 週のレースは大きなアクシデントなく終了し、#12 Z が 3 位表彰台を獲得。#23 Z は 8 位、#24 Z は 9 位でフィニッシュを迎え、Nissan Z NISMO GT500 勢は 3 台揃って入賞を果たしました。

日産/NISMO 陣営としては、想定以上の高温のコンディションとなりタイヤ選択などが難しいレースとなりましたが、今シーズンに向けた改良点の効果を確認でき、今後を見据えたうえでポジティブな成果を得られた開幕戦となりました。この結果を次戦以降の戦いに活かし、さらに戦闘力を高めてシリーズタイトル奪還を目指して努力を続けます。

### 平峰 一貴 選手(#12 TRS IMPUL with SDG Z)

「スタートでのポジションアップは、完全にバゲットさんの強みが発揮できたかたちだと思います。周囲がびっくりするような走りをしてくれるので、僕としてもとても嬉しかったですし、いい刺激になりました。僕のステイットではウォームアップはかなり良かったのですが、ペースを上げるのに少し苦勞してしまいました。色々トライしてペースを戻すことはできたのですが、とにかく前のライバルを追いかけるのに必死でしたね。次の富士も、しっかり最低でも表彰台を獲れるように頑張ります」

### ベルトラン・バゲット 選手(#12 TRS IMPUL with SDG Z)

「序盤は調子が良く、ライバルに対してアドバンテージがあるように感じたので、次々とオーバーテイクができました。ライバルと互角に戦えることを示せましたし、序盤としては非常にポジティブなスタートです。もちろん課題もありますが、今日はとても満足していますし、多くのことを学べたと思います。次の富士に向けて、この岡山での振り返りをきちんと実施して、また競争力を発揮したいですね。チャンピオンシップを戦う上で、いいスタートが切れました」

### 【GT300】

GT300 クラスには 4 台の Nissan GT-R NISMO GT3 と、2 台の GTA GT300 規則のフェアレディ Z が参戦。予選 8 番手からスタートした#56 リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織)が 14 位に入賞し、全車が完走しました。

【GT500決勝 結果】 82Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	36	au TOM'S GR Supra	坪井 翔 / 山下 健太	1:54' 38.677
2	38	KeePer CERUMO GR Supra	大湯 都史樹 / 小林 利徠斗	19.602
3	12	TRS IMPUL with SDG Z	平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット	22.013
8	23	MOTUL Niterra Z	千代 勝正 / 高星 明誠	1' 18.188
9	24	リアライズコーポレーション Z	名取 鉄平 / 三宅 淳詞	1' 22.315

【GT300決勝 結果】 77Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	777	D'station Vantage GT3	藤井 誠暢 / チャーリー・ファグ	1:55' 56.330
2	2	HYPER WATER INGING GR86 GT	堤 優威 / ト部 和久	7.325
3	31	apr LC500h GT	小高 一斗 / 小山 美姫	1Lap
14	56	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織	1Lap
19	11	GAINER TANAX Z	富田 竜一郎 / 大木 一輝	1Lap
21	26	ANEST IWATA GAINER Z	安田 裕信 / リ・ジョンウ	2Laps
24	62	HELM MOTORSPORTS GT-R	平木 湧也 / 平木 玲次	2Laps
26	360	RUNUP × SOL GT-R	荒川 麟 / 金丸 ユウ	3Laps
29	48	健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R	井田 太陽 / ジェームス・ブル	4Laps

以上